

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【公開番号】特開2008-167439(P2008-167439A)

【公開日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-333986(P2007-333986)

【国際特許分類】

H 04 Q 9/00 (2006.01)

E 06 B 9/68 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 9/00 301D

E 06 B 9/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月5日(2010.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動力化されたオーニングまたはブラインドの移動構造体に留められ、家またはビルのオートメーション設備における風セキュリティ信号を送信するようにされたセンサ送信機であって、

ケーシングにおいて、

自主的な電源と、

振動センサと、

無線送信機と、

前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティ信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、

風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティ信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティ信号の送信がディスエーブルとされ、

前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、

前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティ信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機。

【請求項2】

請求項1に記載のセンサ送信機において、前記ディスエーブル信号は、前記センサの前記ディスエーブル状態を示す情報を備えるセンサ送信機。

【請求項3】

請求項1または2に記載のセンサ送信機において、前記他の信号は、プレゼンス信号を含むセンサ送信機。

【請求項4】

移動構造体、および、無線受信機が設けられた制御ユニットを有する固定構造体を備え、風セキュリティー信号を受信してモータを活性化する動力化されたオーニングまたはブラインドのホームオートメーション設備であって、前記移動構造体上に取り付けられ、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機を備えるホームオートメーション設備。

【請求項5】

移動構造体、および、無線受信機が設けられた制御ユニットを有する固定構造体を備え、バリッド風セキュリティー信号を受信してモータを活性化する動力化されたオーニングまたはブラインドのホームオートメーション設備であって、前記移動構造体上に取り付けられ、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機を備えるホームオートメーション設備。

【請求項6】

請求項4または5に記載のホームオートメーション設備において、前記移動構造体は、動力化されたアーム式オーニングを備えるホームオートメーション設備。

【請求項7】

請求項1～3のいずれか1項に記載のセンサ送信機のためのオペレーティング方法であつて、

前記ケーシングの前記機械的状態がモニタされるステップと、

前記ケーシングの前記機械的状態に応じた動作状態またはディスエーブル状態において前記センサ送信機が位置決めされるステップと、を備えるオペレーティング方法。

【請求項8】

請求項7に記載のオペレーティング方法において、

前記ディスエーブル状態において、前記センサ送信機が周期的にプレゼンス信号を送信するオペレーティング方法。

【請求項9】

ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備えるセンサ送信機であって、該センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときにオーニングまたはブラインドを引っ込めるため

に、前記ケーシングが閉鎖され、移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルと共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機のための学習方法であって、

前記ケーシングの前記機械的状態がモニタされるステップと、

前記ケーシングの前記機械的状態に応じた動作状態またはディスエーブル状態において前記センサ送信機が位置決めされるステップと、

前記センサ送信機が、第1の予め定められた持続時間よりも少ない持続時間でディスエーブル状態になっているとき、設定手順をトリガーするステップと、を備える学習方法。

【請求項10】

請求項9に記載の学習方法において、前記設定手順は、

前記移動構造体を手動で動かすステップと、

前記振動センサを使用して測定するステップと、

前記測定値を格納するステップと、

前記格納された測定値から少なくとも1つのスレッショルド値を計算するステップと、スレッショルド値を格納するステップと、を備える学習方法。

【請求項11】

請求項9または10に記載の学習方法において、前記センサ送信機は、前記設定手順の後、動作状態に切り替える学習方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の第1の形態によれば、動力化されたオーニングまたはブラインドの移動構造体に留められ、家またはビルのオートメーション設備における風セキュリティー信号を送信するようにされたセンサ送信機であって、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本発明の第2の形態によれば、移動構造体、および、無線受信機が設けられた制御ユニットを有する固定構造体を備え、風セキュリティー信号を受信してモータを活性化

する動力化されたオーニングまたはブラインドのホームオートメーション設備であって、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままとされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機を備えるホームオートメーション設備が提供される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

なお、本発明の第2の形態によれば、移動構造体、および、無線受信機が設けられた制御ユニットを有する固定構造体を備え、バリッド風セキュリティー信号を受信してモータを活性化する動力化されたオーニングまたはブラインドのホームオートメーション設備であって、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティー信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままとされ、或いは、前記風セキュリティー信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティー信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機を備えるホームオートメーション設備も提供される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

さらに、本発明の第3の形態によれば、センサ送信機のためのオペレーティング方法であって、該センサ送信機は、動力化されたオーニングまたはブラインドの移動構造体に留められ、家またはビルのオートメーション設備における風セキュリティー信号を送信するようにされたセンサ送信機であって、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって前記風セキュリティー信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備え、前記センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときに前記オーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、前記移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティー信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルと

されると共に、他の場合は、前記風セキュリティ信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティ信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされ、前記オペレーティング方法は、前記ケーシングの前記機械的状態がモニタされるステップと、前記ケーシングの前記機械的状態に応じた動作状態またはディスエーブル状態において前記センサ送信機が位置決めされるステップと、を備えるオペレーティング方法が提供される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

そして、本発明の第4の形態によれば、ケーシングにおいて、自主的な電源と、振動センサと、無線送信機と、前記振動センサから獲得された信号を分析し、前記無線送信機によって風セキュリティ信号を送信するかどうかを決定する論理処理ユニットと、を備えるセンサ送信機であって、該センサ送信機は、前記ケーシングの機械的状態を検出する手段を備え、前記センサ送信機は、風セキュリティースレッショルドに達したときにオーニングまたはブラインドを引っ込めるために、前記ケーシングが閉鎖され、移動構造体に留められる動作状態において、前記風セキュリティ信号の送信は、当該動作状態においてイネーブルとされると共に、他の場合は、前記風セキュリティ信号の送信がディスエーブルとされ、前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においては禁止され、他の信号の送信は可能なままでされ、或いは、前記風セキュリティ信号の送信は、前記ディスエーブル状態においてはイネーブルとされ、当該風セキュリティ信号はディスエーブル信号によってディスエーブルとされるセンサ送信機のための学習方法であって、前記ケーシングの前記機械的状態がモニタされるステップと、前記ケーシングの前記機械的状態に応じた動作状態またはディスエーブル状態において前記センサ送信機が位置決めされるステップと、前記センサ送信機が、第1の予め定められた持続時間よりも少ない持続時間でディスエーブル状態になっているとき、設定手順をトリガーするステップと、を備える学習方法が提供される。